福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：229

床置き形手すりが外れてしまい、転倒しそうになる

場面の説明

ベッドから立ち上がる際、床置き形手すりのグリップを持ったところ、急に手すりが外れてしまいバランスを崩した

利用シーン	起居・就寝 立ち座り 移動
主な利用場所	寝室
介護保険の種目	手すり
分類コード (CCTA95)	181806 (握りバー，握り)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

このタイプの手すりは、適切に設置すれば使用上問題のない強度での固定が可能です。外れてしまう原因としては、天井の強度不足や不適切な設置方法が考えられます。取扱説明書をよく理解したうえでの設置や、日常からゆるみの確認を行う、ぐらつきなどがある場合にはメンテナンスを依頼するなどの対策が必要です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：設置方法が悪かった
人：設置ができない箇所に取り付けていた

管理：定期メンテナンスをしていなかった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2025 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.